

高等学校日语教材

例文中心——日本語翻訳の理論と実際

漢訳日精編教程

山本哲也 陈岩 于敬河◎编著



大连理工大学出版社

DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

高等学校日语教材

漢訳日精編教程

例文中心——日本語翻訳の理論と実際

山本哲也 陈 岩 于敬河 编著

大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

漢訳日精編教程/(日)山本哲也,陈岩,于敬河编著.——大连:大连理工大学出版社,2002.8

高等学校日语教材

ISBN 7-5611-2122-9

I. 漢… II. ①山… ②陈… ③于… III. 日语-翻译-教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 031359 号

大连理工大学出版社出版发行

大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-4708842 传真:0411-4701466

E-mail: dulp@mail. dlptt. ln. cn

URL: <http://www.dulp.com.cn>

大连理工印刷有限公司印刷

开本:850 毫米×1168 毫米 1/32 字数:358 千字 印张:14.375

印数:1—6000 册

2002 年 8 月第 1 版

2002 年 8 月第 1 次印刷

责任编辑:王佳玉 于福岳

责任校对:樱 梅

封面设计:孙宝福

定价:22.00 元

前 言

为满足高等院校日语专业高年级翻译课教学的需要,我们编写了这本《漢訳日精編教程》。本教程亦可作为汉译日翻译自学教材使用。

本教程分“基础篇”和“应用篇”两部分。基础篇前十三章主要研究汉语各种句子成分的翻译;第十四章的成语、谚语、格言、歇后语的翻译为更高层次的研究;第十五章的汉、日同形词比较意在为研究翻译时必须进行的同形词比较提出方法;而第十六章则是笔者关于翻译理论的一孔之见。应用篇重点研究社交、经贸等活动中的用语及各种应用文的翻译;文学翻译一章则为对此感兴趣的 learners 提供了示范资料。

本教程在编写过程中,注意了以下几个方面:一、基础篇虽按汉语语法体系结构而成,但在小的环节上并不一一拘泥汉语语法结构,而是从便于研究翻译的角度出发,或综合,或分解,以使学习者掌握更清晰的规律。二、本教程以翻译实践为主,同时不偏废翻译理论,力图通过大量的翻译实例,使学习者掌握各类句子成分及句式的翻译技巧,并升华到理论高度。三、本教程所收内容较多,例句、课堂练习、作业题量较大,并在大部分章后附有综合测试题,这样做除了为了实现以实践为主的教学目的外,还考虑了其他两点:一是为教者留有选择余地;二是为学习者提供一部较为完整的学习翻译的资料。四、本教程说明文字完全使用日语,这样可使学习者在学习翻译的同时,增加对日语的理解能力。

本教程在编写过程中,参考了有关辞典、教材、刊物等,并选用了部分内容。它们主要是:

文化庁《外国人のための基本語用例辞典》

香坂順一《現代中国語辞典》

愛知大学《中日大辞典》

倉石武四郎《日中辞典》

北京外国语学校《详解日中辞典》

金田一京助等《新明解国語辞典》

林四郎等《例解新国語辞典》

大河内康憲等《中、日書信表現辞典》

服部昌之《“事業”と“工作”》

江天《现代汉语语法通解》

于敬河、陈岩《汉译日简明教程》

陈岩《新编日译汉教程》

王蒙《坚硬的稀粥》(中国作家)

管谷音(訳)《硬いお粥》(文学界)

藤本桓、伊井健一郎《商業通信文》

待場裕子、通勢良子《式辞あいさつ》

住田照夫《中国現代商業通信文》

由于编者水平所限,本教程难免存在着错误和不当之处,诚望得到专家、学者及使用本教程的学习者的宝贵意见。

编 者

2002年5月于大连

目 次

基礎編

第一章 中国語と日本語の主な違い……………	3
第一節 品詞の違い・造語法や 語と語の組合せについて……………	3
第二節 語順、文の成分の違い……………	24
第二章 中国語の主語とその他の成分の翻訳 ……	28
第一節 判断文の主語 ……………	28
第二節 動詞述語文の主語の翻訳 ……………	31
第三節 現象文・存現文……………	32
第四節 身体的感覚や状態などを表す文の主語 ……	36
第五節 願望や一部の心理作用を表す文 ……………	37
第六節 可能や願望などを表す文 ……………	38
第七節 愛憎の感情を表す心理動詞“喜欢, 讨厌” などが用いられている文 ……………	39
第八節 充足或いは不足を表す内容の文 ……………	41
第九節 “复谓句”[大主語/述語(小主語/述語)] ……	42

第十節 理由や原因などを表す“以”	
などを用いた文	44
第十一節 疑問代詞“谁、哪、什么”	
などが用いられている疑問文	45
総合テスト問題	48
 第三章 動詞、形容詞などが主語のときの翻訳	49
第一節 動詞が主語の文	49
第二節 形容詞が主語になっている文	52
第三節 色々な連語が主語の文	53
第四節 主述文が主語になっている文	58
総合テスト問題	59
 第四章 述語の翻訳[Ⅰ]	60
第一節 判断文	60
第二節 形容詞述語文	65
第三節 “有”と“在”を用いた存在文	66
第四節 動詞述語文	69
総合テスト問題	76
 第五章 述語の翻訳[Ⅱ]	77
第一節 被动文	77
第二節 使役文(Ⅰ)	85
第三節 使役文(Ⅱ)	93
第四節 禁止や停止などを表す文	97
第五節 意外な気持ちを表す文	100
総合テスト問題	103

第六章 賓語の翻訳	104
第一節 賓語の種類とその一般的な訳し方.....	104
第二節 受事賓語.....	107
第三節 施事賓語.....	108
第四節 中性賓語.....	111
第五節 その他の賓語.....	114
総合テスト問題.....	120
 第七章 補語の翻訳	 121
第一節 程度補語.....	122
第二節 結果補語.....	130
第三節 可能補語.....	132
第四節 方向補語.....	136
第五節 時間、場所補語	137
第六節 動量補語.....	139
総合テスト問題.....	140
 第八章 限定語の翻訳	 141
第一節 限定性の限定語.....	141
第二節 描写性の限定語.....	146
総合テスト問題.....	153
 第九章 状況語の翻訳	 155
第一節 副詞状況語.....	158
第二節 擬声語.....	178
第三節 “然”字構造の状況語.....	179
第四節 形容詞状況語.....	180
第五節 数量詞、名詞、代詞、動詞状況語	180

総合テスト問題	184
第十章 常用介詞の翻訳	185
第一節 時間を表す	186
第二節 場所を表す	187
第三節 方向を表す	189
第四節 根拠、方式を表す	192
第五節 目的、原因、理由を表す	196
第六節 対象を表す	198
第七節 関連を表す	201
第八節 比較を表す	201
第九節 除外を表す	202
総合テスト問題	204
第十一章 「連動式」と「兼語式」の翻訳	205
第一節 連動式	205
第二節 兼語式	212
第三節 兼語式、連動式の連用	219
総合テスト問題	220
第十二章 特殊な成分の翻訳	221
第一節 前承複指	221
第二節 同格複指	222
総合テスト問題	226
第十三章 独立成立の翻訳	227
第一節 間投詞と呼び掛け語	227
第二節 割り込み語	230

総合テスト問題	241
第十四章 熟語の翻訳	243
第一節 四字成語	244
第二節 格言、金言、諺語、俗諺の類	253
第三節 歇后語(洒落・掛け言葉の類)	257
練習問題	260
第十五章 日中同字同形語の翻訳	262
第一節 同字異義語について	262
第二節 類義語について	263
第三節 同字同形語の訳例研究	268
練習問題	280
第十六章 美しい日本語への翻訳のために	282
第一節 中国語と日本語はどこが違うのか	282
第二節 言語形式と思想的内容の統一	284
第三節 母語にも精通する	286
第四節 “翻译的艺术”と“艺术的翻译”	290

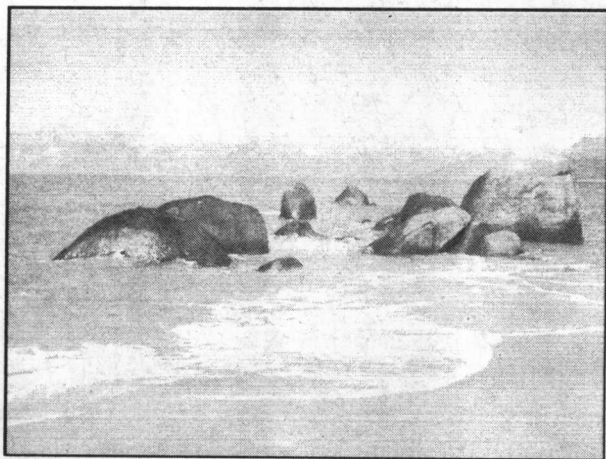
応用編

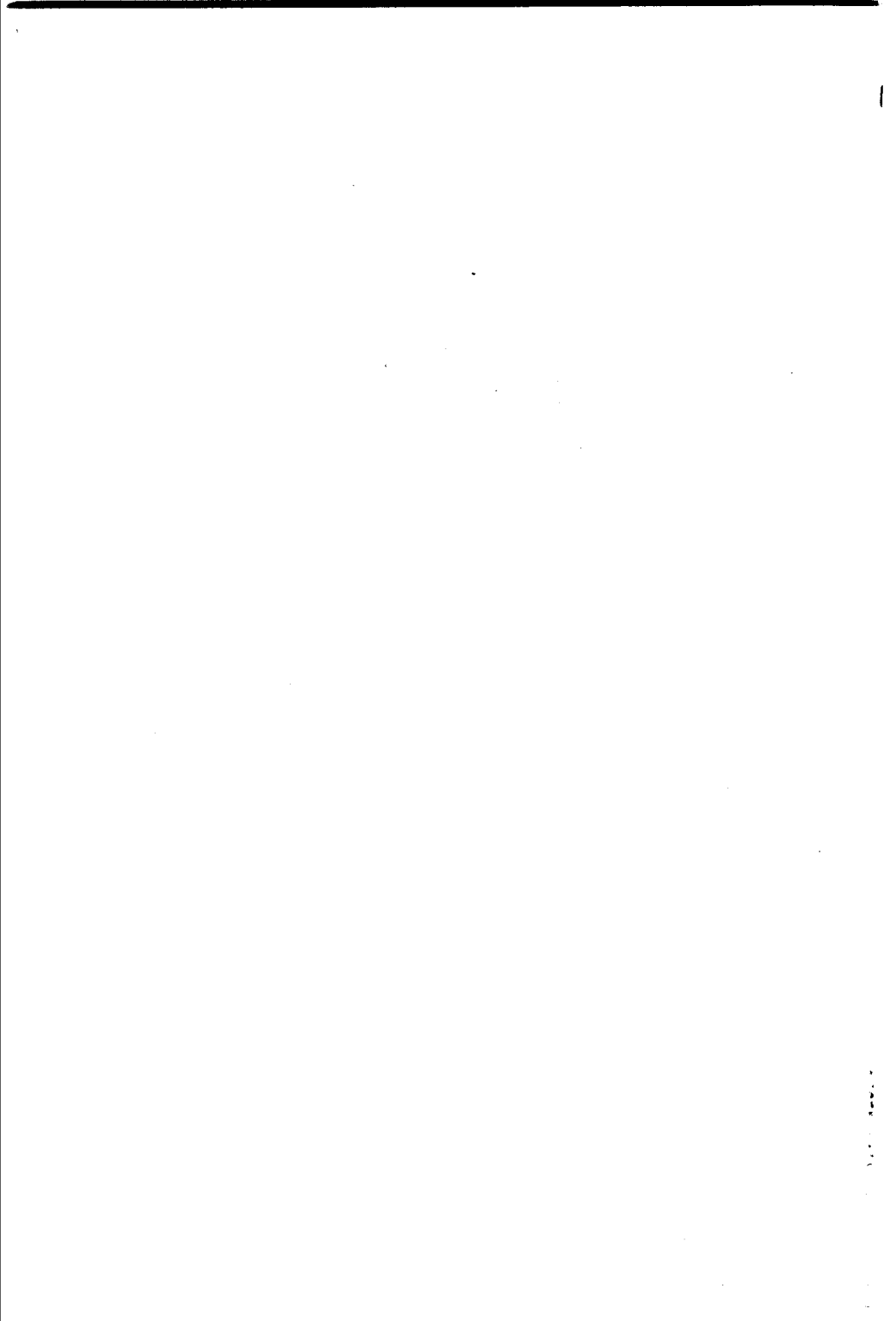
第一章 式辞・挨拶類の翻訳	302
第一節 式辞・挨拶慣用句	304
第二節 式辞・挨拶の訳例	316
1 開幕式での挨拶	316

2	歓迎パーティーの挨拶	320
3	友好都市陸上競技対抗大会開幕式での挨拶	324
	演習題	326
第二章 実用文の翻訳		330
第一節	常用実用文の常用語句	330
第二節	常用実用文の訳例	333
1	年賀状	333
2	招待状	334
3	礼状	335
4	通知状	337
5	悔み状	337
6	各種照会状	338
7	クレーム	341
第三節	会社・団体での実用文の常用語句	342
第四節	会社・団体での実用文の訳例	346
1	辞令	346
2	決議	347
3	通知	349
4	通報	353
5	上申書	354
6	辞任届	355
7	自己評定	356
8	始末書	357
9	議事録	358
	演習題	361

第三章 新聞記事、論説文の翻訳	363
第一節 新聞記事の特徴と翻訳の注意点	363
第二節 新聞記事の訳例	366
1 ダイビングの女王スポーツ界に別れを金メ ダル何と七十七万元	370
2 徐衛東ら列車強盗人犯 14 名に死刑	371
演習題	373
第三節 論説文の特徴と翻訳上の注意点	376
第四節 論説文の訳例	378
時評 農民が保母を雇うことから思うこと	378
解説文 大連市概況	380
テレビのナレーション 第四回大連国際ファッション祭り	394
練習題	413
第四章 文学作品の翻訳	415
第一節 翻訳上の留意点	415
第二節 作品訳例	416
1 詩歌 聞一多 死水	416
2 小説 王 蒙 硬いお粥(拔粹)	418
3 随筆 于植元 前え書き	438

基礎編





第一章 中国語と日本語の主な違い

中国語と日本語は言語系統の異なる言葉である。造語や文法、文の構造などいずれの面においても大きな違いがある。そこで中国語日訳の具体的な問題の検討に入る前に、まず中国語と日本語の品詞の違いから始めて、これらの違いについておよそその比較を試みよう。これは中国語を日本語に翻訳するうえで大変役に立つ知識である。何故ならば、単語は言語のなかにおいて文法的機能をはたすとともに、一定の意味を表す最小の独立した単位であるからである。

第一節 品詞の違い・造語法や語と語の 組合せについて

A 名詞

名詞は人あるいは事物の名前を表す言葉である。この点においては中国語と日本語は基本的に同じである。しかし注意すべき点は時代の進歩・発展にともない、日本語は大量の外来語の名詞を取り入れ(もちろん名詞だけには限らないが)、古くからの名詞が少なからず新しい外来語に取って代られている点である。日常生活においてもそうだし新聞雑誌においても然り、科学技術用語の分野においてはさらに多く見られる現象で、しかもこの傾向は今後ふえとも減ることはなからう。

精編漢訳日教程

B 動詞

中国語の動詞は動作や行為、存在、変化、心理活動などを表す品詞である。その機能としては述語になることが出来る。これが名詞と異なった特徴である。中国語の動詞はさらに細かく次の五種類に分類することが出来る。

1. 動作動詞 看(見る) 说(話す) 想(思う) 买(買う)
表明(表明する)
2. 方向動詞 来(来る) 去(行く) 进(入る) 出(出る)
上来(上がってくる) 下来(下がってくる)
回来(帰ってくる)
3. 存在動詞 有(有る) 在(いる) 存在(存在する)
具备(備えている、備わっている)
4. 判断動詞 叫(～という) 是(～である) 算(～とする、
～とみなす) 等于(～にひとしい)
5. 能願動詞 能(～できる) 敢(敢えて～する) 会(～できる)
可以(～できる、～してよい) 应该(当然
～しなければならない) 愿意(～したい)

日本語の動詞も動作や作用、存在、心理活動などを表すのに用いられる。例えば、

読(よ)む

屈(かが)む

呪(のろ)う

泣(な)く

泣(な)かす

伸(の)びる

伸(の)ばす

移(うつ)る

移(うつ)す

戻(もど)る

第一章 中国語と日本語の主な違い

戻(もと)す	ある
進(すす)む	いる
進(すす)める	聳(そび)える
破(やぶ)る	備(そな)える
破(やぶ)れる	備(そな)わる
始(はじ)まる	整(ととの)う
始(はじ)める	整(ととの)える

その他、動詞の語尾は表現の必要によって規則的に変化する。すなわち「活用」である。しかしこの「活用」は中国語の「活用」と同じものと考えてはいけない。中国語の動詞の所謂「活用」というのは、個別的な一部の動詞が、意味の違いはあるが他の品詞を兼ねるとか、品詞が変わるというだけのことである。日本語の動詞についてはその分類が複雑なので、ここではこれ以上説明しない。

ただ、日本語の名詞には動詞の連用形が当てられるものが非常に多い。例えば、

行き	戻(もと)し
帰り	選(え)り好(ご)み
行き帰り	飛び乗り
飲み食い	摺(つか)み合い
買い食(ぐ)い	乗り合い
読み書き	言い合い
上(のぼ、あが)り	知り合い
下(くだ、さが)り	返り咲(ざ)き
摘(つま)み食(ぐ)い	摘(つま)み洗い
盗み聞(ぎ)き	乗り越し
払(はら)い	